

製品名: TCF-19 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18730**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	35kDa

抗原情報

遺伝子名	TCF19
別名	TCF19; SC1; Transcription factor 19; TCF-19; Transcription factor SC1
遺伝子 ID	6941.0
SwissProt ID	Q9Y242
免疫原	ヒト TCF-19 の内部領域から得られた合成ペプチド。

背景

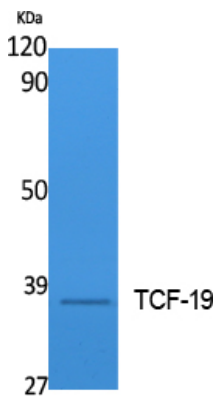
この遺伝子は、PHD 型ジンクフィンガードメインを含むタンパク質をコードしており、転写因子として機能すると考えられます。コードされているタンパク質は、膵臓 β 細胞の増殖とアポトーシスに関与しています。選択的スプライシングにより、複数の転写産

物バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2016年1月], 発生段階: 成長制御。 , 機能: 細胞周期の進行後期に必要な遺伝子の転写において重要な役割を果たす可能性のある、潜在的なトランス活性化因子。 , PTM: DNA 損傷時に、おそらく ATM または ATR によってリン酸化される。 , 類似性: FHA ドメインを1つ含む。 , 類似性: PHD 型ジンクフィンガーを1つ含む。 ,

研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達; 転写; その他の因子; 細胞; シグナル伝達経路; Wnt 核

画像データ



TCF-19 ポリクローナル抗体を使用した、Jurkat 細胞抽出物のウェスタン ブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈されました。